

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

令和6年6月20日

所在地 山梨県南都留郡富士河口湖町  
小立 3010-3  
企業名 うなぎ割烹 力  
代表者 相澤 力

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

山梨県において鳥獣害とされる「鹿 (ジビエ)」を捕獲し個体数の減少に寄与するとともに個体から採取される鹿肉と鰻の骨等を利用したペットフード等を開発するなど食品ロスの軽減に向けた事業を展開する取り組み。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日:	(進捗率)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	通常廃棄処理され鰻の骨と頭を活用したペットフード等の開発	ペットのみならず魚介類などへも対応した商品開発 現在値: 2品開発 2030年: 10品開発		(進捗率)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ペット食品も健康志向であるため無添加・無着色に心掛けた商品製作	食品の安全・安心を山梨県から全国へアピール 現在値: ふるさと納税 2030年: 食品業者連携		(進捗率)
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	廃棄されていた部位を利活用するなど新たなペットフードのあり方と廃棄処理費の軽減に寄与	事業系ゴミ排出ゼロに向けて、店舗内における他素材の活用 現在値: 自社店舗のみで部位を利活用 2030年: 山梨県内の同業者における部位を利活用		(進捗率)

2030年の目指す姿

「鹿」の個体数管理は、県や地元自治体だけでは困難であること及び「鹿肉」は、低カロリー・高タンパクの側面があることから、やまなし SDGs 登録制度を利用し DX 技術を用いて山梨県内の事業者及び地元自治体とも連携し個体数の管理から商品開発に至るまで一貫性をもち、ペットフードの量産のみならず

ず山梨を代表する料理や商品として位置づけること。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の**3側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、**新規登録時は記入不要**です。